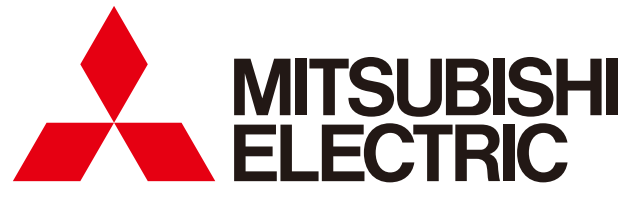


メンテナンス／交換の次は、 空調機の更新に合わせてロスナイも更新

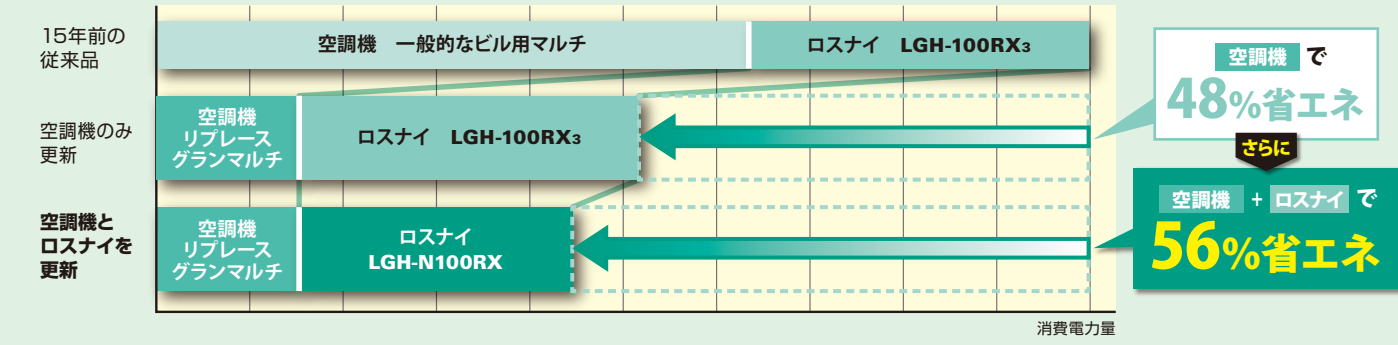


Changes for the Better
業務用ロスナイ

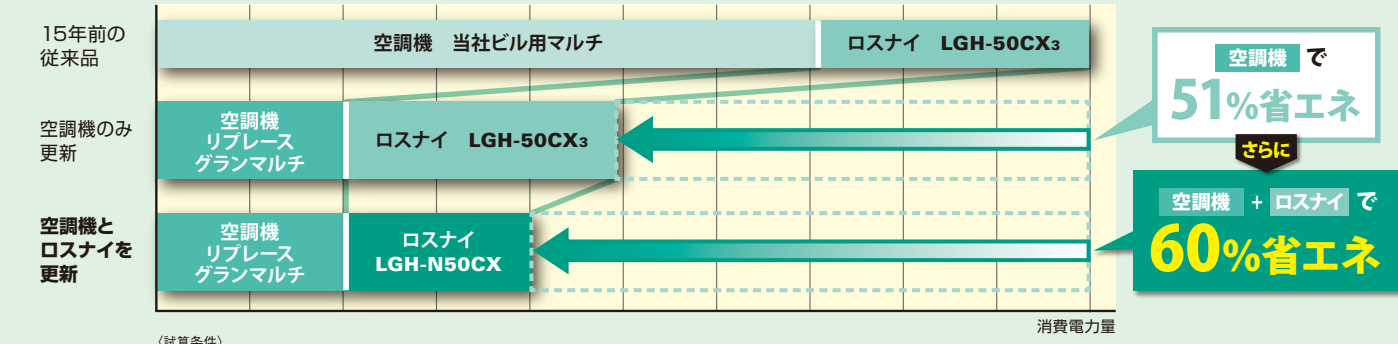
省エネ効果〈15年前との比較〉

空調機の消費電力はロスナイによる熱回収効果を含んで試算しています。

■ロスナイ〈天井埋込形〉の場合



■ロスナイ〈天井カセット形〉の場合



〈試算条件〉
 [空調機] ●空調時間:冷房期間4/19~11/11、暖房期間12/3~3/15 6日/週 8:00~20:00 ●PUHY-GRP280DMG4と当社15年前の同等機種PUHY-J280M-B1の仕様(50Hz地区にて当社試算(10馬力システム))、天井カセット4方向室内ユニットP140形2台 100%接続
 [ロスナイ] ●換気時間(既設品)毎日強運転、(リニューアル品)平日の8:00~12:00・13:00~20:00は強運転、12:00~13:00・20:00~翌8:00は微弱運転、休日は24時間微弱運転(2017年2月現在) ●天井埋込形の場合:LGH-N100RX 1台と15年前の同等機種LGH-100RX₃ 1台の仕様 ●天井カセット形の場合:LGH-N50CX 2台と15年前の同等機種LGH-50CX₃ 2台の使用

ロスナイの更新によるその他のメリット

ジーニアスリモコンと併用することにより、きめ細かい省エネ制御ができます。

- 24時間換気設定** (24hr icon): リモコンスイッチOFFで微弱風量運転を開始し、確実な24時間換気を実現。
- 微弱ノッチ運転** (Ex low icon): 在室人数の少ない場合に外気導入を最低限に控え、空調負荷を軽減。
- 週間スケジュール** (Weekly icon): 曜日・時間帯ごとの運転・風量パターンを設定可能。
- ナイトパーズ運転** (Moon icon): 冷房シーズンに温度の低い夜間の外気を室内に取り入れ、室温の上昇を抑制。
- 自動(普通)換気切替** (Auto icon): 室外気温が適度で室内空気と熱交換を行う必要がない場合に、自動で普通換気に切替。外気が基準以上の高湿、基準以下の低湿な空気の場合、普通換気ではなくロスナイ換気に切替。
- CO₂センサー(別売)** (CO₂ icon): CO₂濃度に応じて、換気風量を最適化。外気導入を最低限に控え、空調負荷を軽減。



換気設備のメンテナンスで 変える! 室内の快適性と 空調の省エネ性

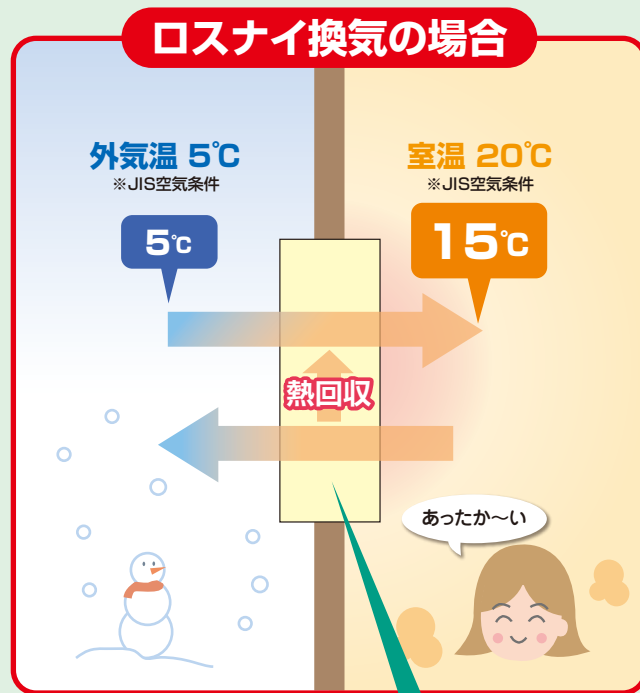
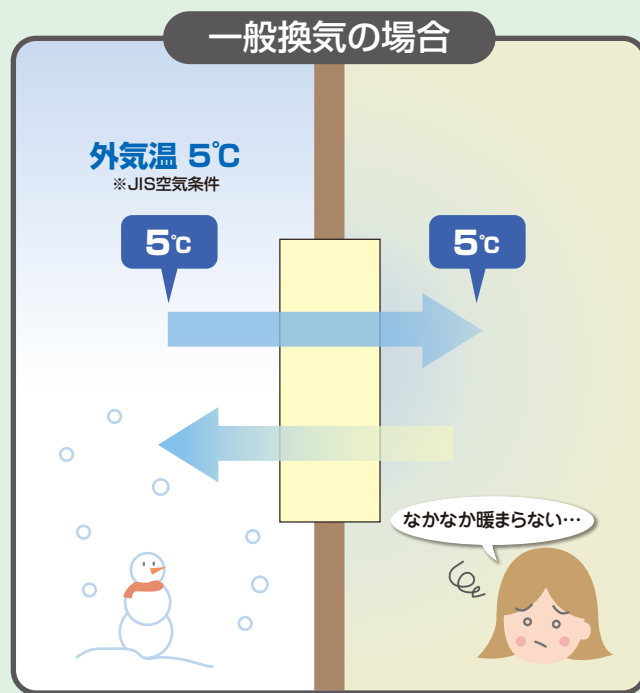


詳しくは中面を
ご覧ください!

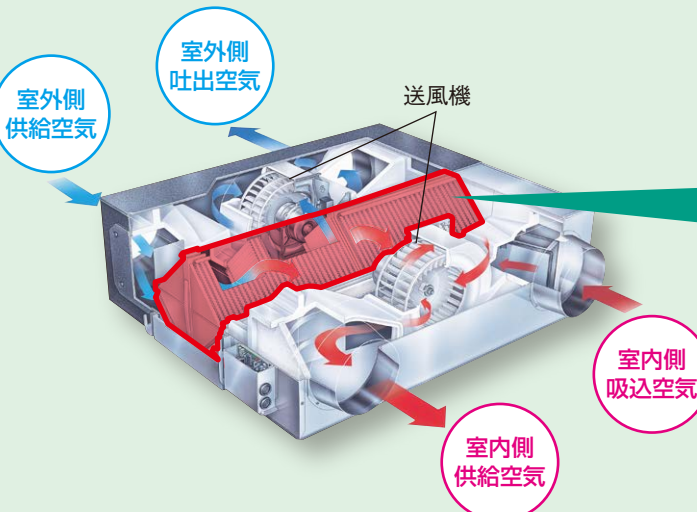
御社のビルは、ロスナイ®という全熱交換形換気扇で換気をしています

Q. 全熱交換形換気扇とは？

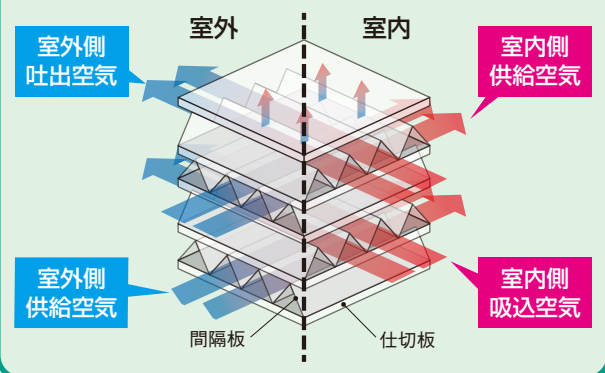
A. 外気を除塵し、室内温度に近づけて取り込む換気扇です。だから快適で冷暖房費を節約できます。



ロスナイ内部構造



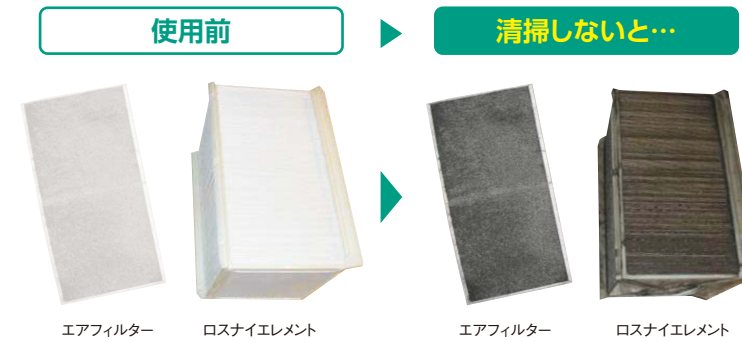
ロスナイエレメントのしくみ



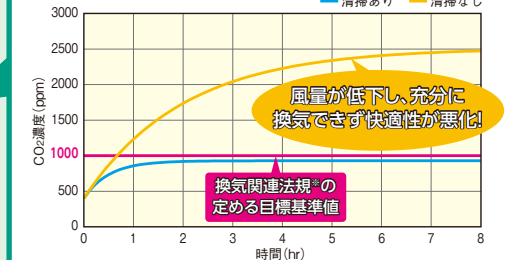
まずはメンテナンスから

メンテナンスを怠ると...

エアフィルター・ロスナイエレメント比較 (イメージ)



CO₂濃度比較



《試算条件》・天井高さ:2.5m ・床面積:400m² ・在室人数:80人
・CO₂発生量:0.0132m³/h・人 ・換気量:2000m³/h
・外気CO₂濃度:400ppm ・想定埃量:0.15mg/m³
・想定使用時間:メンテナンスなしで30,000時間(10年相当)
※建築物衛生法・建築基準法・労働安全衛生法

セルフメンテナンスからスタート

ここを開けてメンテナンスします
天井埋込形取扱説明書はこちら
天井埋込形動画はこちら
天井カセット形取扱説明書はこちら
天井カセット形動画はこちら
※LGH-N15~N100RS(D)、RX(D)
※LGH-N15RS(D)、RX(D)
※LGH-50RSs
※LGH-35CS(D)、LGH-35CX(D)
※LGH-35CSs

上記以外のメンテナンス／交換はご依頼ください

例えば、下記のような異常があった場合は、清掃・部品の交換が必要です。

<h3>加湿エレメント</h3> <p>業務用ロスナイ加湿付、業務用ロスナイ外気処理ユニット</p> <p>目詰まりが発生 カビなどの異臭が発生</p>	<h3>ドレンパン</h3> <p>業務用ロスナイ加湿付、業務用ロスナイ外気処理ユニット、業務用ロスナイ耐湿形</p> <p>排水詰まりが発生</p>	<h3>ファンモータ</h3> <p>異常音が発生 異常振動が発生</p> <p>など...</p>
--	---	--

※上記は定期的なメンテナンスが「建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則」(略称:建築物衛生法(旧ビル管理法))で義務付けられています。